

ミャンマーの孤児へおもちゃ

福岡ホストL.Cが仲介

おもちゃ病院伊都国



瀧野さん（左から2人目）らが受け取った

糸島市でおもちゃ修理のボランティア活動をしている「おもちゃ病院伊都国」(波多江保彦代表、26人)は、福岡ホストライオンズクラブ(福岡市、木原清会

長)を通して、ミャンマーの孤児におもちゃを寄贈することにし、19日に同市波多江にあるおもちゃ病院工作室で、木原会長(70)らにおもちゃを手渡した。

波多江さんが、今年1月に同クラブの例会で卓話したことがきっかけで、ミャンマーへ学校建設などの支援をしている同クラブが、波多江さんにもおもちゃの寄贈を依頼した。

波多江さんたちは、使わなくなったおもちゃを引き取り、点検整備して施設に寄贈するリユース事業「おもちゃ箱」の活動もしている。

リユース事業部の清水絃子さん(71)らが中心となり、電池不要でゼンマイで動くものや修理がいらぬおもちゃのピアノや手押し

車、パズル、ミニカー、絵本、ぬいぐるみなどを選び出し、段ボール3箱分のおもちゃを寄贈することにした。

贈呈式では、清水さんらが、今月末にミャンマーを訪問する木原会長と同国で学習支援などの活動をしている同クラブミャンマー委員会の瀧野降さん(74)におもちゃを託した。

寄託を受けた瀧野さんは「子どもたちはきっと喜びます」と歓迎、波多江さんは「おもちゃ病院伊都国としては国外に贈るのは初めて

で、役に立てればうれしい」と話していた。

2017(H29).04.27 糸島新聞 (2)

(糸島新聞社の使用許諾済み、同社に無断で転載することは出来ません)